

獣医学教育の質保証と獣医学 共用試験vetCBTの役割

高井 伸二
北里大学獣医学部

獣医学共用試験委員会委員長

第7回 獣医学教育改革委員会
平成24年9月15日 午前9時30分～11時30分

共用試験とは

- 獣医師養成教育において、実践能力の醸成に必要な参加型実習教育を実施するに際して、実習する学生の資質（知識、技能、態度）を大学が社会に保証する試験である。

どのように実施するか

- 共用試験は、それを実施する大学が協力して開発するものである。
- 共用試験は、新たな国家試験ではなく、試験成績の評価結果の利用は各大学の判断によるものとする。
- 試験問題作成の準備及び実施、運営に必要なコンピュータ・システムの開発は全参加大学が分担する。
- 試験の受験生への公平性と試験が持つ社会的な責任の重要性を認識して、全参加大学が実施、評価に責任を持つ。

CBT試験内容

- CBTの目的は「基本的な獣医学知識が習得されており、参加型実習を開始してよいレベルに到達していることを個々の大学が保証する」ものである。
- CBTの実施時期は、5年次の参加型実習開始を想定して、実習開始前（4年次終了前）が適当である（大学の都合に応じて設定）。
- CBTの難易度は、通常の授業を理解している学生が特別な準備を要することなく解ける問題とする。

本日の内容

- 4月から9月までの動き
- 文科省・調査研究協力者会議
- 文科省・中教審
- 共用試験の役割(基本的な考え方・Q&A)
- 委員会組織体制
- 今後の予定と課題



獣医学共用試験準備委員会

獣医学共用試験 始まります!!

[| トップページ | サイトマップ |](#)

4月から9月までの動き

- 4月 科研費・基盤研究(A)採択
- 4月 共用試験委員会の正式発足と活動開始
- 4月 問題作成HPとシステム構築
- 5-7月 CBT試験問題の作成依頼(全国)
- 7月 667名の登録、7722題の出題
- 8月 問題精選委員の依頼とシステム構築
- 9月～ 問題精選工程の開始

問題作成システム ログイン画面

第2期の調査研究協力者会議



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

お知らせ

政策について

白書・統計・出版物

申請・手続き

文部科学省について

[トップ](#) > [政策について](#) > [審議会情報](#) > [調査研究協力者会議等（高等教育）](#) > 獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議（平成23年度～）

● 獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議（平成23年度～）

- 第1回 平成24年3月13日
- 第2回 平成24年4月23日
- 第3回 平成24年8月 3日
- 第4回 平成24年9月11日

協力者会議の議題

第1回

- (1) 獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議の運営について
- (2) 教育改革の進捗状況のフォローアップと今後の推進方策
- (3) 産業動物獣医師、公務員獣医師の育成に向けた今後の獣医師養成の在り方(入学定員の在り方を含む)

第2回

- (1) 口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境整備事業の進捗状況と今後の課題(感染症等対策分野、産業動物診療分野における実習システムの構築)
- (2) 附属家畜病院(動物診療センター)の現状と課題、今後の在り方

第3回

- (1) 「教育実施状況調査」に関する中間的な報告
～各大学におけるモデル・コアカリキュラムの対応状況を中心に～
- (2) 教育改革の進捗状況と改革の推進に向けた課題の整理について

中央教育審議会大学分科会(第108回) ■ 大学教育部会(第20回)

日時:平成24年7月24日(火)

14:30~17:00

場所:文部科学省旧庁舎6階 第二講堂

議題:

(1)中長期的な大学教育の在り方について

○分野別質保証の取組:獣医学教育

(2)その他

資料 4

中央教育審議会
大学分科会（第108回）
大学教育部会（第20回）
H24. 7. 24

高度専門人材の育成に係る 分野別質保証の取組

1. 技術者教育における質保証について
2. 獣医学教育における質保証について

獣医学教育 質保証 取組

- **これまでの経緯**

- 文部科学省は、「獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」を平成20年11月に設置し、平成23年3月に、高度な実践力を有する獣医師の養成・国際水準の獣医学教育の実現に向けて、以下の教育改革の方向性を提言。
 - ・モデル・コア・カリキュラムの策定など教育内容・方法の改善促進
 - ・共同学部・学科の設置や大学間連携の促進になど教育体制の充実
 - ・分野別第三者評価や診療行為に参加する学生を事前に評価する共用試験の導入の促進

(参考:モデル・コア・カリキュラムの主な内容)

- ① 獣医学生が卒業時まで身につけるべき必須の能力に関する到達目標を明示。
- ② 獣医学専門教育課程6年間で学修すべき2／3程度の内容を示す。
- ③ 近年の獣医学の進歩や社会的ニーズを考慮して講義科目51科目、実習科目19科目により構成。
- ④ 科目名は例示であり、また単位数も大学が独自に割り振る。
- ⑤ 共用試験の出題基準、大学の横断的・分野別評価の基準として使用できる。

獣医学教育

質保証 取組

- **現在の状況**

- この提言をもとに、各大学・関係団体において教育改善の取組が進められているが、教育改革の進捗状況のフォローアップ、獣医師の活動分野等の偏在などに対応するため、平成24年3月に、改めて「獣医学教育の改善・充実に係る調査研究協力者会議」を立ち上げ、以下の論点について検討を進めている。

(主な論点)

- ①教育改革の進捗状況のフォローアップと今後の推進方策
- ②公務員・産業動物分野の獣医師の育成に向けた今後の獣医師養成の在り方(入学定員の在り方を含む)
- ③獣医学分野における教育者・研究者養成の在り方

- ※ これまで、教育改革の進捗状況に関するフォローアップ、教育の実施状況についての調査を行ったところ。

中央教育審議会

- 平成24年8月28日の第82回総会
- 「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～(答申)」
- 各種国家資格等に係わる教育課程
- 専門職業人養成においても専門的知識の修得にとどまらず、
- 能力の育成に向けた各大学の取組を促す。
- 分野別質保証の取組を支援する。
- 注)医療系人材養成、獣医師養成、技術者養成の分野・・・



全国大学獣医学関係代表者協議会

- ▶ HOME
- ▶ 協議会組織図
- ▶ インフォメーション
- ▶ 役員

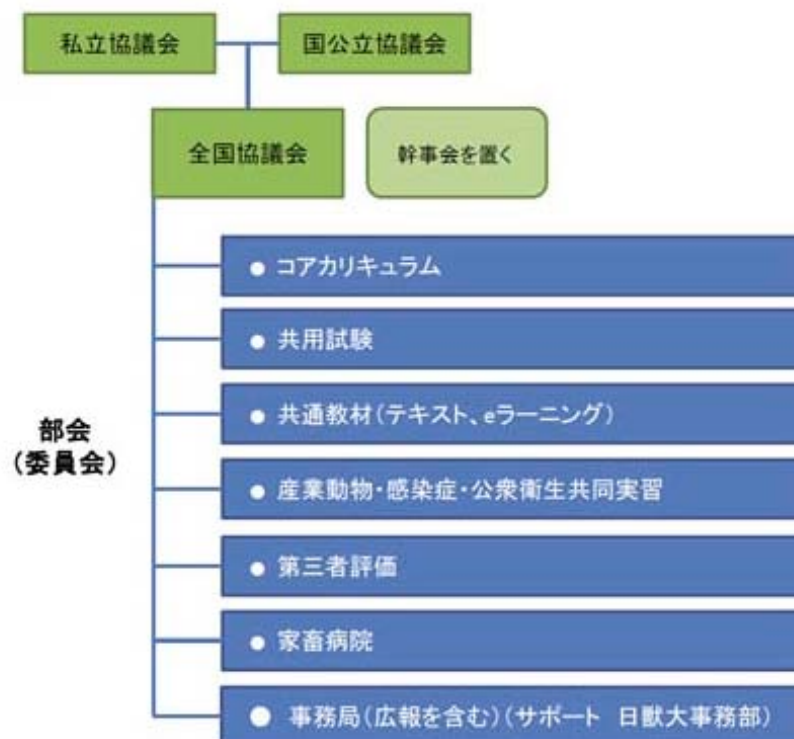
新しい獣医学教育の方向性と 獣医学教育者の責務に関する声明

全国大学獣医学関係
代表者協議会とは？



日本国内で獣医学関係の教育組織を有する国立大学法人10大学，公立大学法人1大学，私立大学5大学の代表者から組織される協議会です。

▶ [協議会組織図](#)



獣医学共用試験vetCBTの役割

- 共用試験に関する基本的な考え方
- 共用試験Q & A
- 農水省：獣医師法17条の適用について
- CBT 問題の機密性に関する考え方

獣医学共用試験ってなに？

共用試験は、学部教育において参加型臨床実習を実施する学生の質の確保と保証の前提として、平成28年から開始されます。

現在、獣医臨床教育における「診療行為に参加する学生の事前評価について社会的信頼を得る仕組み」として獣医学共用試験（vetCBTとvetOSCE）の準備を平成28年度の本格実施に向けて開始しました。

[詳しくはこちら](#)



共用試験の理解醸成のために

- 16大学教員を対象としたシンポジウム
- 16大学職員への情報公開と理解醸成
- 16大学・トライアル試験の学生への理解醸成
- 社会への情報公開と理解醸成

- HPの充実
- 科研費成果報告会など

獣医学共用試験Q & A

(ホームページ: http://vet_cat.umin.jp/)

1. 獣医学共用試験の目的と基本的考え方について

Q1 獣医学共用試験とは何ですか？

Q2 獣医学共用試験はなぜ必要なのですか？

Q3 獣医学共用試験では、どのような試験が行われますか？

Q4 獣医学共用試験はどこが責任母体となって実施するのですか？

Q5 獣医学共用試験と獣医師国家試験の違いは何ですか？

Q6 獣医学共用試験の検討は誰が行っているのですか？

Q7 臨床分野に進む予定のない学生が参加型臨床実習を受講する理由は？

獣医学共用試験Q & A

(ホームページ: http://vet_cat.umin.jp/)

1. 獣医学共用試験の目的と基本的考え方について

Q8 獣医学共用試験についての議論が不足しているのではないのでしょうか

Q9 参加型臨床実習の具体像がないなかで、共用試験の実施を検討するのはまだ早いのでは？

Q10 共用試験では獣医師法の違法性阻却要件とならないと聞いていますが、どうでしょうか？

Q11 獣医学共用試験の結果を進級認定等の他の目的で利用することは可能でしょうか？

Q12 獣医学共用試験のためにカリキュラムを変更しなければならぬのはおかしいのでは？

獣医学共用試験Q & A

(ホームページ: http://vet_cat.umin.jp/)

2. 獣医学共用試験制度の管理運営

- Q1 獣医学共用試験の管理運営はどこが行うのでしょうか？
- Q2 獣医学共用試験実施に向けての今後の計画を教えてください。
- Q3 現在、全国獣医学関係大学代表者協議会が中心となって獣医学共用試験実施の検討を進めていますが、本協議会と設置予定の機構との関係はどのようなになるのでしょうか？
- Q4 獣医学共用試験のため各大学が負担する経費はどのくらいでしょうか？
- Q5 獣医学共用試験の受験料はどのくらいでしょうか？

獣医学共用試験Q & A

(ホームページ: http://vet_cat.umin.jp/)

3. 獣医学共用試験CBTの問題作成

- Q1 vetCBT問題は誰が出題するのでしょうか？
- Q2 コアカリ準拠の教科書が出来ていない科目の問題作成は難しいと思いますが？
- Q3 自由に出題するとコアカリ全体をカバー出来なくなると思うのですが？
- Q4 今後も同様に、各教員が問題作成を行うのでしょうか？
- Q5 「vetCBT問題の機密性に関する考え方」に、作成者の守秘義務について曖昧に記載されていますが、これで気密性を保つことができるのでしょうか？
- Q6 臨床科目の各論がCBT出題の範囲外となっています。参加型臨床実習の参加要件とするためには、各論も必要ではないのでしょうか？

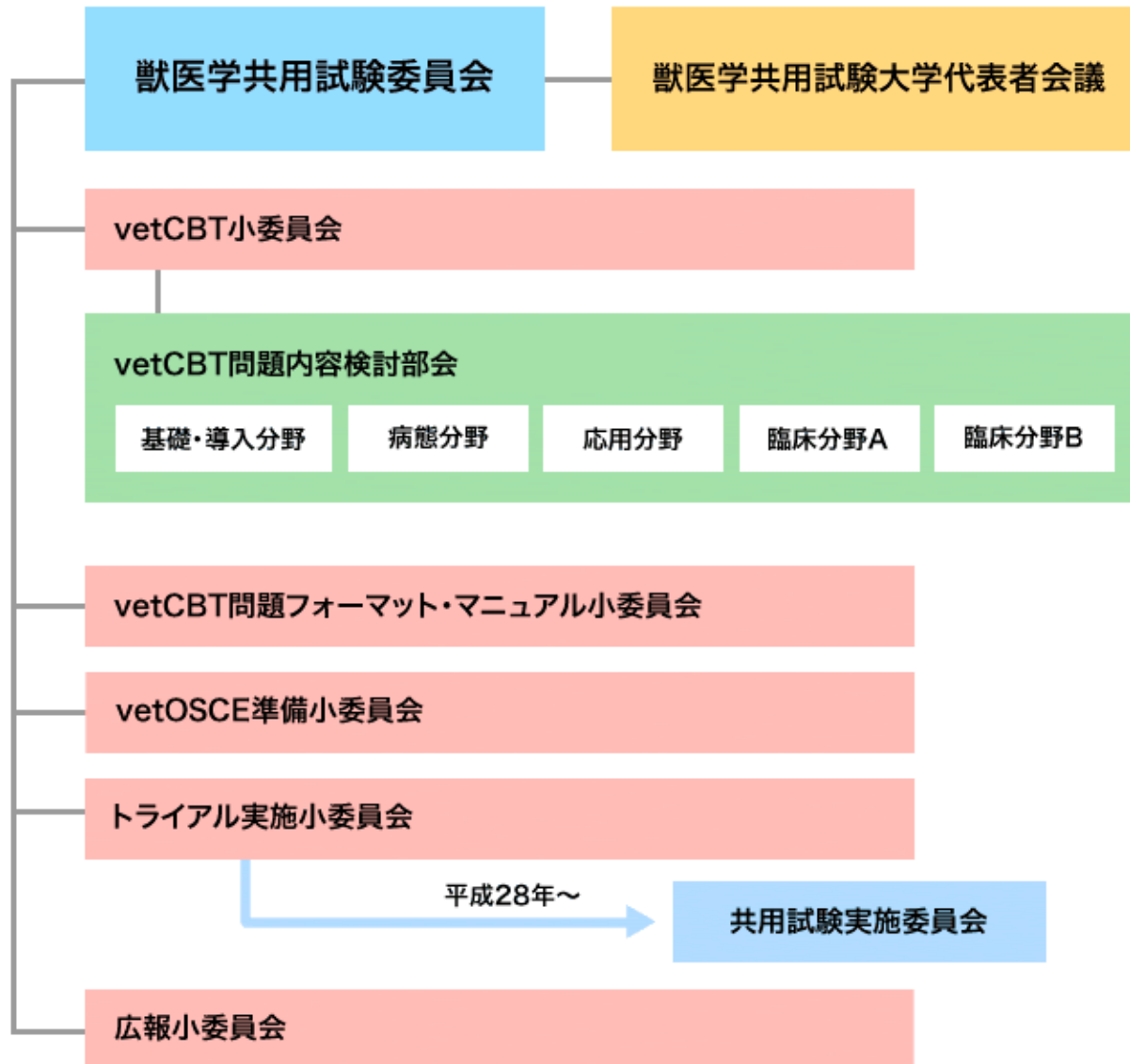
獣医学共用試験Q & A

(ホームページ: http://vet_cat.umin.jp/)

4. 獣医学共用試験の実施

- Q1 前ぶれなく獣医学共用試験を実施すると学生に混乱を与えるのではないのでしょうか？
- Q2 各大学で整備すべきIT環境、設備、備品等はどのようなものですか？
- Q3 共用試験の実施時期はいつですか？
- Q4 追試験あるいは再試験を行うのでしょうか？

獣医学共用試験委員会組織

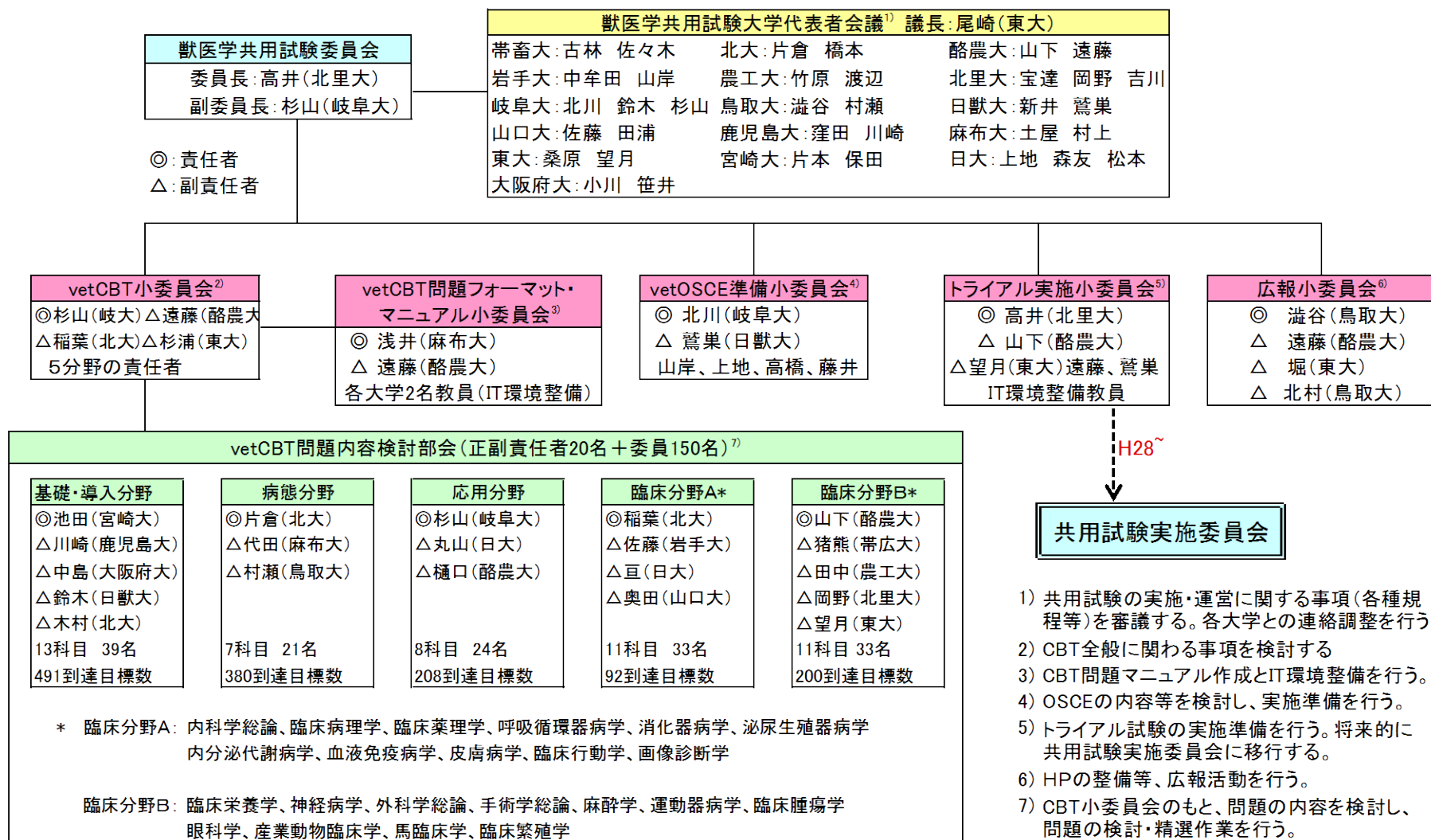


獣医学共用試験委員会組織体制

資料3-1

獣医学共用試験委員会組織体制

(H24.8.23)



今後の検討課題

- 本格実施までのスケジュール
- 運営体制の確立（機構の設立）
- 大学負担金及び受験料
- 実施環境の整備
- 追試験及び再試験制度
- 試験結果の取扱い（判定基準等）
- 問題検証システム
- 獣医学共用試験の開発研究のためのアンケート調査（基盤A）

本格実施までのスケジュール

- 平成24年
- 6月5日
- ~7月14日 CBT問題募集(→7720題)
- 9月中 CBT問題精選システム説明会(各大学)＝共用試験説明も兼ねる
- 第1回説明会(東京近郊大学):問題内容検討部会正副責任者参加
- →第2回～各大学での説明会
- (当該大学所属責任者＋他大学責任者1名による説明)
- (＋共用試験委員会委員)
- 10月～11月 CBT問題精選作業
- 問題出題及び検証システム確立
-
- 平成25年度
- 前期 第2回CBT問題募集
- ~前期末 第2回CBT問題精選作業
- 後期 第1回CBTトライアル試験(対象5年生、数校希望者)

本格実施までのスケジュール

- 平成26年度
 - 前期 第3回CBT問題募集
 - ～前期末 第3回CBT問題精選作業
 - 2月 第2回CBTトライアル試験(対象5年生、参加表明全校・希望者)
 - 第1回OSCEトライアル試験(対象5年生、数校希望者)
 -
- 平成27年度(本格実施と同じスケジュール)
 - 前期 第4回vetCBT問題募集
 - ～前期末 第4回vetCBT問題精選作業
 - ～12月 vetCBT出題問題の検討
 - 2月 第3回CBTトライアル試験(対象5年生、参加表明全校・希望者)
 - 第2回OSCEトライアル試験(対象5年生、参加表明全校希望者)
 -
- 平成28年度(本格実施)
 - 前期 第5回vetCBT問題募集
 - ～前期末 第5回vetCBT問題精選作業
 - 第3回vetCBTトライアル試験結果の検証
 - ～12月 出題問題の検討
 - 2月 第1回共用試験(対象4年生、参加表明校・全員)

運営体制の確立（機構の設立）

- 設置予定の獣医学共用試験実施評価機構（仮称）は、客観性を高めるため全国獣医学関係大学代表者協議会とは独立した法人格をもつ予定です。はじめは一般法人として発足させ、ゆくゆくは公益法人とすることを考えています。
- 一般社団法人 獣医系大学間共用試験実施評価機構 定款（案）
- 第1章総則
- （名称）
- 第1条 この法人は、##法人獣医系大学間共用試験実施評価機構という。
- （事務所）
- 第2条 この法人は、事務所を#####に置く。
- 第2章 目的及び事業
- （目的）
- 第4条この法人は、我が国における良質な獣医師の育成を図るため、獣医系大学間の共用試験に関する事業を行うとともに獣医系大学等における教育評価の充実に関する事業・学術研究・啓蒙・普及活動を行い、もって我が国獣医療の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。

大学負担金及び受験料(案)

収入			万円
	単価	員数	小計
大学会費	35～80	16	785
受験料	1.8	1000	1800
再受験料	1.8	50	90
収入 合計			2675

大学会費（案の一例）

固定分20万円＋0.5万円×学生数で計算しました。

学生30人の大学は35万円、 120人の大学は80万円になります。

追試験及び再試験制度

- **病気等**のため試験を受けることが出来なかった学生に対しては、**追試験**を行います。
- 時期としては本試験の**約半月後**を考えています。
- **不合格**と判定された学生に対しては、追試験終了後の日程で、**有料で再試験(1回限り)**を実施します。

試験内容(案)

- CBT(タブレットPCを用いた客観試験)
- 300問(5肢択一)、6時間
- OSCE(客観的臨床能力試験)
- 5ステーションで実地試験

合格基準(案)

- CBT:正答60%以上
- OSCE 4段階評価(ABCD) D評価は不合格C評価が3つ以上でも不合格

試験結果の取扱い

- 獣医学共用試験の目的は、参加型臨床実習のための**事前評価**を目的としています。**原則として、他の目的での本試験の利用は好ましくありません。**一方で、参加型臨床実習の受講が進級に影響を与える場合、例えば参加型臨床実習を受講しなければ留年が確定するような場合は、事前評価である共用試験の結果を進級要件にすることは可能と考えています。

試験結果の公表（社会に保証）

平成23年度薬学部共用試験結果について

[トップ](#) > [訪問者メニュー](#) > [在学生の方へ](#) > 平成23年度薬学部共用試験結果について

	実施日程	受験者数	合格者数	合格基準
CBT	本試験： 平成24年 1月24、25日	272	270	正答率60%以上
	追再試験： 平成24年 2月23日			
OSCE	本試験： 平成23年12月18日	272	272	細目評価70%以上
	追再試験： 平成24年 2月21日			概略評価5以上
計		272	270	

慶應義塾大学薬学部における、平成23年度薬学共用試験の結果は下記の通りです。

		実施日程	合格者数	合格基準
CBT	本試験	平成24年1月18, 19日	165	正答率60%以上
	追試験	平成24年3月7日	167	
OSCE	本試験	平成23年12月11日	169	細目評価70%以上 概略評価5以上
	追試験	平成24年2月24日		
共用試験			167	

平成21年度薬学共用試験結果

	実施日程	受験者数	合格者数	合格基準
CBT	本試験 平成22年1月23日	77	75	正答率59%以上
	追再試験 平成22年3月6日			
OSCE	本試験 平成21年12月6日	77	77	細目評価70%以上 概略評価5以上
	追再試験 平成22年2月27日			
共用試験		77	75	

薬学6年制の進級規程(例)



薬学部学年進級規程（平成23年度入学生）

北里大学薬学部にて在籍する学生の進級ならびに留年に関する扱いは、この規程の定めるところによる。

<総則>

- 第1条 進級、留年、卒業の決定については、学則により薬学部教授会で審議し、決定する。
- 第2条 履修すべき必修科目中、不合格科目の数が4科目以上の者は進級できない。
- 第3条 実験・実習科目に不合格科目を有する者は進級できない。
- 第4条 必修科目に不合格科目を有して進級する者は、4年次終了までに再試験を受験し当該不合格科目の単位を全て修得しなければならない。

進級要件ではないが・・・

＜薬学科における4年次から5年次への進級に関する規程＞

第10条 薬学科における4年次から5年次への進級については、総則第1条、第3条、第4条、第5条、第6条を適用する。

第11条 4年次終了までに必修科目111単位全てを修得した者が、共用試験（OSCE・CBT）に合格していない場合は、4年次から5年次への進級は認めるが、「病院・薬局実習」を履修することはできない。

＜薬学科における5年次から6年次への進級に関する規程＞

第12条 薬学科における5年次から6年次への進級については、総則第1条、第3条、第5条、第6条を適用する。

2 第11条により「病院・薬局実習」が履修できない者は、留年とする。

第13条 共用試験（OSCE・CBT）の有効期間の延長が認められる特別な事由により年度途中で「病院・薬局実習」の履修が継続できなくなった場合に限り、「病院・薬局実習」を6年次で履修することを教授会が認めた場合は、進級することができる。

北里大学医学部進級・卒業・留年規程

第3条 進級要件は次のとおりとする。

- (1) 該当学年配当科目（必修科目及び選択必修科目、以下同じ）で、受験資格を失った科目（医学部試験内規第3条に定めるもの）がないこと。
- (2) 該当学年配当科目の成績平均が60点以上であること。
- (3) 該当学年配当科目の合格科目が5分の4以上であること。但し、第5学年にあつては不合格科目が3科目以下であること。
- (4) 第3学年にあつては、テュートリアル教育に合格すること。
第4学年にあつては、総合試験、OSCEに合格すること。
第5学年にあつては、臨床実習総合試験に合格すること。

試験実施時期はいつですか？

- 各大学のカリキュラムの進行に沿って、実施時期を選択して頂く予定です。
- モデル・コア・カリキュラムの試験対象となる範囲が終了する4年後期または5年前期を想定しております。

基盤研究(A) 本年度の事業

- 参加型臨床実習における実習学生の質保証を目的とした獣医学共用試験の開発研究のためのアンケート調査
- 16大学の全教員に協力依頼がありますので、その節は、よろしくお願い申し上げます。

試験内容に関する説明

- vetCBT問題内容検討部会・・・杉山先生
- vetOSCE準備小委員会・・・北川先生

工程表(案)

年度	教育研究体制の整備	共用試験委員会
23 2011		✓ 9月総会 方針の確認 ✓ 10月科研費基盤A申請(事業費) ✓ 11月準備委員会総会
24 2012	✓ 共同学部・学科(1年生)	✓ 共用試験委員会の発足(科研費基盤A) ✓ 試験問題作成開始 (16大学)
25 2013	✓ 共同学部・学科(2年生) ✓ 共用試験第一期生(1年)	✓ 共用試験実施機構の設立 ✓ 第1回CBTトライアル
26 2014	✓ 共同学部・学科(3年生) ✓ 共用試験第一期生(2年)	✓ 第2回CBTトライアル ✓ OSCEトライアル
27 2015	✓ 共同学部・学科(4年生) ✓ 共用試験第一期生(3年)	✓ 第3回CBTトライアル ✓ OSCEトライアル
28 2016	✓ 共同学部・学科(5年生) ✓ 共用試験第一期生(4年)	✓ 共用試験本格実施(4年生後期から)
29 2017	✓ 共同学部・学科(6年生) ✓ 共用試験第一期生(5年)	✓ 参加型実習開始(5年生から)

平成25年度入学者への周知

- 平成25年度入学予定者に対して、平成28年度以降(4年生以上)において、参加型臨床実習等の実施するために、共用試験を受験する必要がある旨を、学生募集要項、学生便覧等での周知の必要性について確認した。
- 共用試験委員会のHPでは受験生の皆様への欄でも記載します。
- 各大学における準備をお願いいたします。

ありがとうございました

